

会員の皆様、こんにちは。

税関の仕事をご存知ですか？ 輸出入に関わる税金を徴収する役所ですが、加えて密輸の取り締まりも重要な役割です。麻薬や拳銃の密輸に対しては時に警察と連携し危険を伴うこともあるのです。訪日客が倍々ゲームで増えていくことは経済的にプラスですが、法で禁じられた物品が持ち込まれる機会も増えていきます。「職人技」とも言われる税関の仕事についてご紹介いたします。ご一読ください。

石田まさひろ政策研究会

グローバル化と税関

■身近になった「グローバル化」

グローバル化というと国境を越えた企業の経済活動が思い浮かぶ。しかし、今やその波は、庶民の暮らしにも具体的に影響を与えている。私たち日本人の生活は、もはや外国からの輸入品なしには成り立たなくなっているのだ。食料品しかり、衣料品しかり、日本が得意としていた電化製品も中国・韓国メーカーのものが巷に溢れている。

モノだけでなく、ヒトについても同様だ。政府はインバウンド（外国人の訪日客）の年間目標を「2020年、4000万人」と設定している。日本の人口の3分の1に及ぶ人々が日本を訪れることになる。加えて昨年の入管法改正により、「特定技能」という新たな資格で在留する外国人が増加するだろう。急激な変化ではあるが、「グローバル化」という波に飲み込まれるのか、波に乗って日本を成長させていけるのか、私たち日本人の覚悟が試されている。

■水際のゲートキーパー・税関

そのよう中、様々な輸入品のゲートキーパーとなっているのが「税関」である。税関というと港に設置されている役所というイメ

ージで、中央官庁としては国土交通省の所管と思われる方もあるかもしれないが、財務省の一部署である。担う枠割は大きく3つ。

①適正かつ公平な関税等の徴収

税関で徴収する関税、消費税等は、日本の国税収入の約1割を占めるほどだ。

②違法品の流入を水際で食い止める

薬物、銃器をはじめ、テロ関連物品、知的財



産侵害物品等の取り締まり。麻薬探知犬の活躍もここ。

③貿易の円滑化

貿易は日本経済の屋台骨の一つ。簡便な手続と円滑な処理は重要だ。

■横浜税関の取組み

横浜税関では、税関業務や税関の歴史を国民に広く知ってもらうため、資料展示室「クイーンのひろば」の見学を実施している。開港からの横浜港・横浜税関の歴史をつづるグラフィック年表や貿易の変遷、麻薬やけん銃などの密輸の手口、知的財産を侵害した偽ブランド商品やワシントン条約に該当するはく製や標本等を、映像や実物展示により紹介している。また、お仕事体験コーナーでは、ファイバースコープや金属探知機の使用体験もできる。昨年3月10日リニューアルオープンしたので、以前行ったことのある方も訪れてみていただきたい。

特に「密輸の手口コーナー」は必見だ。分厚いコンテナの壁を二重にしてその中に薬物をぎっしり詰めていたりする。その

現物が展示してある。言葉は適切でないかもしれないが、「こんな手口もあるのか！」と妙に感心してしまうのだ。

「知的財産コーナー」では、押収されたブランド品の偽物が所狭しと並べてある。真似された企業の経済損失はいかばかりか。同情を誘う。

ある意味「楽しみながら」見学しているうちに、税関という機関が担う重要性も理解できるようになっていたので、是非ご家族連れで、または友人たちと訪れていただきたい。

「横浜税関資料展示室のご案内」

<http://www.customs.go.jp/yokohama/museum/kengaku.htm>

ペンネーム：ミント愛作家



資料展示室入口



密輸の手口コーナー

Seki-shiN石心

石田まさひろ政策研究会メールマガジン

vol.056

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---